

2024年12月17日
 フューチャーアーキテクト株式会社

AI-OCR サービス「Future OCR」、給与支払報告書読み取りに
 総括表対応、後続システムとの連携強化を実現した新バージョンを提供開始
 ～平均精度が 99.1%に到達し、総括表の主要 8 項目に対応～

フューチャー株式会社(証券コード:4722)の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト)は、AI を活用した OCR(Optical Character Recognition: 光学的文字認識)プラットフォームサービス「Future OCR」*1から提供する給与支払報告書(以下給報)を対象とした読み取りサービスのバージョンを刷新し、2024年11月より提供を開始しました。

給報は、住民税を算出するため事業者が従業員に支払った給与額を毎年1月末までに自治体へ報告するための書類です。日本の給与所得者はおよそ 6,068 万人*2 いますが、地方税の手続きを電子化する地方税ポータルシステム「eLTAX」の給報利用率は 2021 年度の実績で 61.5%*3 に留まっているため、依然としてデータ入力に多くの人手が必要となっています。また、各自治体でフォーマットが異なる非定型帳票であることに加え、「頭紙」「総括表」「明細書」など複数種の帳票があり、AI-OCR 化が難しい領域です。そのため、自治体や業務委託先のビジネスプロセスアウトソーシングベンダー(以下 BPO 事業者)では、特定期間に集中するデータ入力の負荷が課題となっています。

フューチャーアーキテクトでは、こうした課題を解決すべく、2021年1月よりSGシステムと共同で実運用に耐えうる給報の AI-OCR サービスを提供しています。独自の AI-OCR エンジンとアルゴリズムを組み合わせ、継続的なバージョンアップによる機能の追加と精度改善を続けています。近年は BPO 事業者に加えて自治体での直接採用も広がっており、2023 年度の読み取り実績は 200 万枚を突破*4 しました。

2024年11月にリリースした最新版では、「非定型エンジン、AI-OCR エンジンの改良」「総括表への対応」「読み取り結果変換ツールの機能追加」「新たなエントリーシステムの導入」など、精度と機能の向上を実現し、さらなる業務効率化を可能にします。

■「Future OCR」給報読み取りサービス 最新版の特長

1. 非定型エンジン、AI-OCR エンジンの改良

AI アルゴリズムの刷新や、特定項目に特化した AI-OCR エンジンの追加により、読み取り精度がさらに向上し、明細表の全項目の平均精度は 99.1%に達しました。これにより、ベリファイ入力時の不一致エラーが従来バージョンと比較し 20%減少し、ベリファイ入力者の心理的負担の軽減や入力リズムの維持に大きく寄与することが期待できます。読み取り難易度が高い「氏名カナ」項目は、姓名分割をした状態で精度 98.6%に達しています。

2. 総括表への対応

利用者のニーズが高かった総括表の読み取りに対応。当社独自の技術をもとに、総括表に対応した非定型エンジンを新たに開発。既存の明細表読み取りサービスと同様に、事前の読み取り位置の設定なしに 1 枚ずつ自動解析し読み取り結果を返すことが可能です。総括表の読み取り対象は当社調査で業界最多の 8 項目*5 に対応しています。

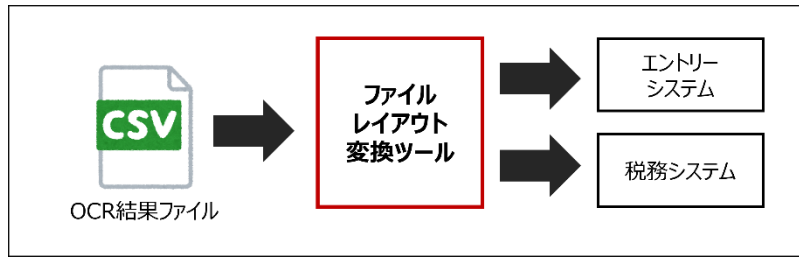
給与支払報告書(総括表)

令和 年 月 日提出		指定番号	
給与の支払期間	令和 年 月分から 月分まで		
給与支払者の個人番号又は法人番号			
フリガナ		事業種目	
給与支払者の氏名又は名称		受給者員	人
所得税の源泉徴収をしている事務所又は事業の名称		報告員	
フリガナ		特別徴収対象者	人
同上の所在地	〒	普通徴収対象者(退職者)	人
給与支払者が法人である場合の代表者の氏名		普通徴収対象者(退職者を除く)	人
連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号	氏名(電話)	報告員	報告人員の合計 人
課 係		所務 轄名	税務署
関与税理士等の氏名及び電話番号	氏名(電話)	給与の支払方法及びその期日	
		納入書の送付	必要・不要

第十七号様式(用紙日本産業規格 A 5) (第十条関係) (別紙八十一)

3. 読み取り結果変換ツールの機能追加

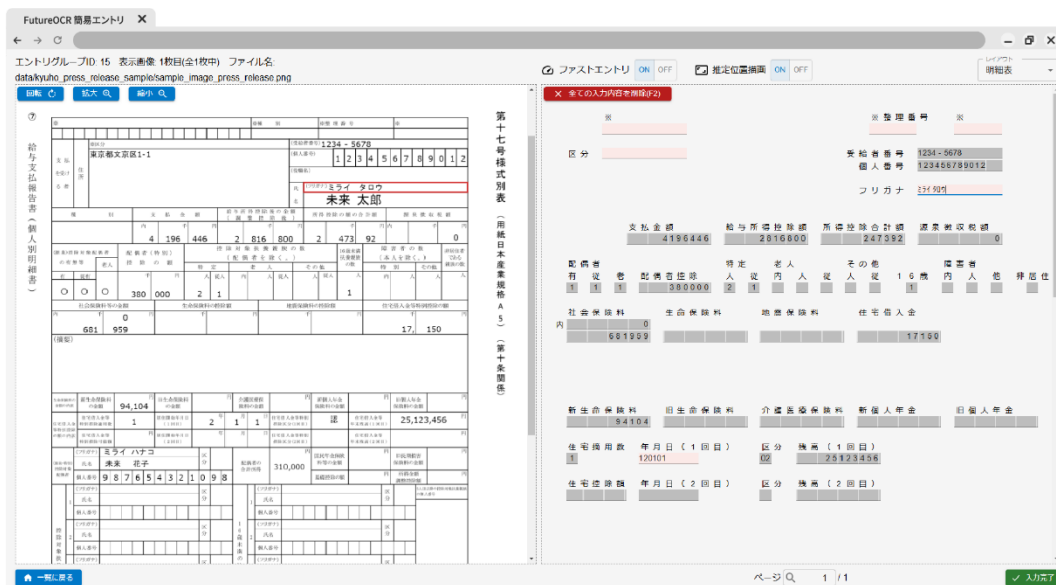
OCR 読み取り結果のファイルを後続システム(エントリーシステムや税務システムなど)が求める仕様に変換する「ファイルレイアウト変換ツール」を新たに提供します。



ファイルレイアウト変換ツールのイメージ

4. 読み取り結果を確認、修正しやすいエントリーシステムの導入

「Future OCR」の読み取り結果を確認、修正するための入力システムを新たに提供。「ファストエントリー機能」により、AIの信頼度が高い項目は確認不要とし、信頼度が低い項目のみを確認することで、高い作業効率が期待できます。入力時には、スキャン画像上での入力箇所を正確に示すことができ、直感的でストレスの少ない入力を実現。給報の入力作業を職員が行っている自治体にとって最適かつシンプルな構成となっています。



Future OCR(給与支払報告書向け)エントリー画面

フューチャーアーキテクトは、「Future OCR」の共同開発者であり販売代理店でもある SG システムと AI-OCR サービスを提供することで、自治体や事業者の業務省力化により貴重な労働資源を有効活用できるよう支援するとともに、今後も AI-OCR 技術の向上に取り組み、様々な業界での生産性向上に寄与していきます。

- ※1. Future OCR はフューチャーアーキテクト株式会社の登録商標です。
SG システムが提供する同サービス名称は、「Biz-AI×OCR」です。
- ※2. 国税庁「令和 5 年分 民間給与実態統計調査」
<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/minkan/gaiyou/2023.htm>
- ※3. 「令和 4 年度(2022 年度) 地方税における電子化の推進に関する検討会 とりまとめ」
<https://www.eltax.lta.go.jp/news/06523/%E6%9C%AC%E6%96%87.pdf>
- ※4. 『「Future OCR」給与支払報告書を対象とした AI-OCR サービス 2023 年度の読み取り実績が 200 万枚を突破』
https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_AI-OCR_TwomillionReading_20240624.pdf
- ※5. 「普通徴収対象者」項目が、「普通徴収対象者(退職者)」と「普通徴収対象者(退職者を除く)」に分かれていないタイプの総括表にも対応
- ※6. 本プレスに使用した給与支払報告書(総括表、個人別明細書)の画像はすべて「第 17 号様式」(総務省) (https://www.soumu.go.jp/main_content/000397106.pdf) を加工して作成しています。
出典: 総務省ホームページ (<https://www.soumu.go.jp>)
- ※7. 参考プレスリリース
 - ・『給与支払報告書を対象とした AI-OCR サービスの提供を開始
～AI による非定型帳票の解析とデータの自動入力によりお客様の業務省力化を支援』
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000443.000004374.html>
 - ・『「Future OCR®」給与支払報告書を対象とした AI-OCR サービス 最新版の 2023 年 読み取り実績 100 万枚超え
～最大 1.5 倍の業務効率化を達成』
https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_FA_AI-OCR_MillionReading_230621.pdf

■SG システム株式会社 概要

代表者:代表取締役社長 丸山信二

設立:1983年2月17日

事業内容:情報システムに関する企画、設計、開発、保守、運用業務等

所在地:京都府京都市南区上鳥羽角田町 25

URL:<https://www.sg-systems.co.jp/>

■フューチャーアーキテクト株式会社 概要

代表者:代表取締役社長 谷口友彦

設立:2016年4月1日

所在地:東京都品川区大崎 1-2-2

事業内容:IT を武器とした課題解決型のコンサルティングサービスの提供

URL:<https://www.future.co.jp/architect/>

■本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社

お問い合わせフォーム:https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/service_solution_entry.php

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報担当:清水、松本、石井

TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム:https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php